

ユビキタスセンサーネットワーク技術に関する調査研究会
ワーキンググループ（第1回）
議事要旨

1 日時

平成16年3月25日（月）14：00～16：20

2 場所

三田共用会議所 国際会議室

3 出席者

（1）調査研究会構成員（50音順、敬称略）

新井正伸、石田建一、石田良英、稲坂朋義、井上泰一、緒方司郎、尾崎文夫、落合秀広、芥子育雄、越塚登、斉藤市郎、坂口尚、岸本太郎（代理）、佐藤祐一、黒木健司（代理）、須藤茂男、瀬川倉三、山田勇（代理）、戸辺義人、中井敏久、西史郎、西村元伸、野口哲、橋向博昭、濱井龍明、坂東吉人、星義隆、行田弘一（代理）、石田正彦（代理）、松野浩樹、三田彰、森川博之、矢野和男

[オブザーバ]

石田泳志（代理）、古賀康之、石井幸一、菅原謙二（代理）、後藤賢二

（2）事務局（総務省）

武井技術政策課長、竹内研究推進室長、山口課長補佐

4 議事等

（1）開会

構成員紹介

（2）配布資料の確認

（3）議事

ワーキンググループの進め方について

資料WG1-1に基づき、ワーキンググループの検討事項等について事務局から説明を行いました承された。

センサーネットワークに関する技術動向と利用の現状について

資料WG1-2、3、4、5に基づき、センサーネットワーク関連技術の動向等について、戸辺構成員、緒方構成員、橋向構成員、新井構成員よりプレゼンテーションが行われた。

（3）意見交換

主な意見は以下の通り

センサーネットワークは利活用が広範に渡り多様な展開が考えられるため、議論が発散しがちである。そのためセンサーネットワークの要素技術の検討にあたっては、分野を絞り過ぎてしまうことに注意しつつも、典型的なアプリケーションをいくつか想定し、それを土台として議論を進めることが重要。

センサーネットワークは多種多様なセンサーが繋がることに加えて、アドホックに様々な利用ができるようになると魅力。

コンテキスト処理技術など、ヒューマンファクター（人間にとって役に立つ情報をどう感知するのか）を考えると良い。

(4) 閉会

5 配布資料

- 資料WG 1 - 1 ワーキンググループの検討事項等について(案)
- 資料WG 1 - 2 センサネットワークの技術動向(戸辺構成員)
- 資料WG 1 - 3 ユビキタス・ネットワークとセンサー(緒方構成員)
- 資料WG 1 - 4 ユビキタスセンサーネットワークに関連する技術の紹介(橋向構成員)
- 資料WG 1 - 5 ユビキタスセンサーネットワークの技術動向と将来展望(新井構成員)
- 参考WG 1 1 「ユビキタスセンサーネットワーク技術に関する調査研究会」関連資料

(以上)